

平成31年2月6日

2019春 教育実践福島ラウンドテーブル

学び続ける教師コミュニティ

これからの教員には、教える専門家としての側面と学びの専門家としての側面が求められています。本研究会は、激動の時代における教師が学び続けるためのアクティブ・ラーニングとして、新しい教員研修の形を目指し継続開催しています。

今回は、基調講演に文部科学省初等中等教育局特別支援教育課課長補佐の山下直也氏をお招きし、特別支援教育をとりまく制度面の変化や学習指導要領の改訂など「特別支援教育の現状と課題」についてご講演いただきます。

午後に行われるラウンドテーブルでは、校種、職種を超えた少人数のグループが一つのテーブルを囲み、実践報告を手がかりに対話することで、各人が学び手として新たな気づきを得たり、方策を見出したりします。

このラウンドテーブルは、本学大学院人間発達文化研究科教職教育専攻（教職大学院）院生による研究報告の場であるとともに、県内外の教育関係者の「学び続ける教師コミュニティ」形成の場にもなっています。

◆日 時：平成31年2月16日（土）10：00～16：00

◆場 所：福島大学L棟・S棟

◆主 催：福島大学大学院人間発達文化研究科

◆後 援：福島県教育委員会、福島県市町村教育委員会連絡協議会 ほか

詳細につきましては、別紙チラシをご参照ください。

（お問い合わせ先）

福島大学人間発達文化学類教授 鶴巻正子

960-1296 福島市金谷川1番地

TEL :024-548-8173 / FAX:024-548-3181

E-Mail: turumaki@educ.fukushima-u.ac.jp

2019 春 教育実践福島ラウンドテーブル（二次案内） 学び続ける教師コミュニティ



2019

2.16(土)

—10:00～16:00—

福島大学L棟・S棟

受付開始
9:30～



教育問題を考える時、幼児教育から小・中・高・大学、さらに社会教育といった長期的視点に立って、継続的にとらえる必要があると思われます。その場が、このラウンドテーブルです。

教員、学生及び教育に関心がある方が一堂に会して、子供たちの夢を実現できる学びの場を目指し、様々な観点から教育を語り合ひましょう。

10:00～10:05

主催者挨拶

（受付：L1 ロビー）

10:05～12:00

基調講演「特別支援教育の現状と課題」

講師 山下 直也 氏 （文部科学省初等中等教育局特別支援教育課課長補佐）



【主な経歴】

福島県福島市出身
平成9年北海道大学採用
平成14年に文部科学省に転籍
大臣官房人事課で人事、服務、人事評価等の業務に長く従事
教育行政では、平成17年4月から19年3月まで初等中等教育局教育課程課
平成26年4月から平成29年3月まで国立大学法人福島大学出向
平成29年4月より現職

【講演概要】

平成18年の障害者権利条約の採択、平成19年の特別支援教育の本格実施、平成23年の改正障害者基本法施行、平成25年の就学制度の改正など、制度的な面で特別支援教育は近年大きく変化しております。また、社会の特別支援教育への理解がさらに広がっていくにつれ、発達障害者への支援、医療的ケアが必要な子供への支援、初等中等教育全体の改善・充実の方向性を重視して行われる学習指導要領の改訂など、行政、学校ともに対応しなければならない事柄は広範にわたります。

講演を通し、特別支援教育全体についての現状や課題を共有できればと思っております。

12:00～13:00

昼食（大学会館の食堂・売店を利用することができます。）

13:00～16:00

ラウンドテーブル

（受付：S棟1階ロビー）

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学・教育委員会・一般の方々を交えて、数人のテーブルにわかれ、報告をもとに日々の教育活動について自由に語り合ひます。

16:30～18:00

懇親会（会費500円）

（受付：人間発達文化学類棟2階・大会議室）

自由な雰囲気の中で意見を交換し親交を深めます。ご参加をお待ちしております。

*大学構内の駐車場を無料でご利用いただけます。

駐車券を受付までお持ちください。

*大雪特別警報(福島市)の場合は中止いたします。

*くお申し込み・お問い合わせ先

福島大学人間発達文化学類支援室

TEL 024-548-8101

FAX 024-548-3181

Mail:ningen@adb.fukushima-u.ac.jp

主催 福島大学大学院人間発達文化研究科

共催 福島県教育委員会

後援 福島県市町村教育委員会連絡協議会 福島県都市教育長協議会 福島県町村教育長協議会

福島県小学校長会 福島県中学校長会 福島県高等学校長協会

ラウンドテーブルの魅力



参加された方からの意見

●「様々な年代の方々との情報交換は貴重であった。特に様々な視点をもとに実践をふまえて話すことができたのは、内容の深まりにつながった」(教育行政50代)



●「普段はつながることのない人と話せるチャンスがあり、うれしい!人とのつながりがエネルギーになります」(小30代)



●「他の学校の実践やいろいろな立場の方の考えを聞く機会がありませんので、貴重な時間となりました。話すことで、自分の考えを整理したり、さらなる疑問がわいたりして、研修意欲が高まりました」(特支40代)



●「自分の実践について、様々なアドバイスをいただけたこと。ラウンドテーブルに向けての資料準備を通して、自分の思考を整理できたこと。年2回のラウンドテーブルが自分の実践の振り返りの場になっています」(小20代)

報告者募集中! ■ふだん取り組んでいることや悩んでいることを、A4判1枚に1~2項目を立てるだけで結構です。口頭で報告してください。もちろん、詳しい資料も歓迎です。(資料は、7部ご持参ください。)
■院生32名も、これまでの学びの道のりを報告します。

新たな出会いが明日への活力となります。多くの皆様をお待ちしております。

2019 春 教育実践福島ラウンドテーブル 参加申込書

(A) 氏名・ふりがな		
(B) 所属・職名		
(C) 所属分類		
(D) 職業分類		
(E) 地域分類		
(F) 参加の仕方 (該当箇所に ○をつけてく ださい)	☐ 1日参加 ☐ 午前のみ参加 ☐ 午後のみ参加 ☐ 懇親会参加	
(G) ミニレポート報告希望	() あり () なし	() あり () なし
(H) 連絡先メールアドレス		
(I) 連絡先電話番号		

(記入分類例)

(C) 所属: 1 幼・保 2 小学校 3 中学校 4 高校 5 特支 6 大学 7 教育委員会 8 社会教育施設 9 病院・福祉施設 10 その他

(D) 職業: 1 教員(現職院生含む) 2 学校管理職 3 研究者 4 社会教育 5 障がい・福祉 6 病院・看護 7 行政職・指導主事
8 学部生・学類生 9 大学院生 10 その他

(E) 地域: 1 県北地区 2 県中地区 3 県南地区 4 会津地区 5 南会津地区 6 相双地区 7 いわき地区 8 福島県外

<参加申し込み方法>上の参加申込書に記入してFAXで送っていただくか、人間発達文化学類WEBページから申込書をダウンロードしてメール等で2019年2月1日(金)までにお申し込みください。(当日受付可)